

PP-100 PP-50BD PP-50 PP-7050BD スタートアップガイド

ご使用の前に

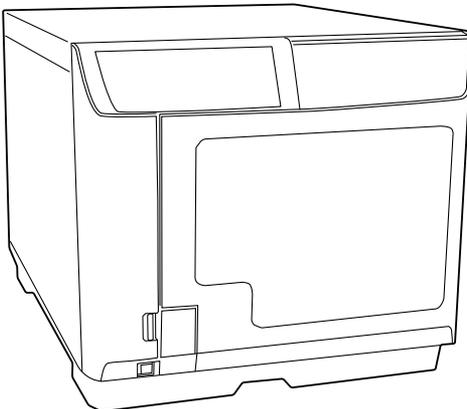
開梱と設置

各部の名称と基本操作

セットアップ

インストールと設定

Disc producer™



本文中のマークについて

本書では、以下のマークを用いて重要な事項を記載しています。

注意

ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。

参考

補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

掲載画面およびイラスト

- お使いの製品機種および OS によって、本文中の表記と実際に表示される Windows の画面が異なる場合があります。本書では、特に指定がない限り PP-100 使用時の Windows Vista の画面を掲載しています。
- 本書では、特に指定がない限り PP-100 のイラストを掲載しています。

マニュアル構成

本製品には、次の説明書が用意されています。

Windows OS をお使いの場合

スタートアップガイド（本書）	搬入後、本製品を梱包箱から取り出し、設置するまでの作業、およびソフトウェアのインストールについて説明しています。はじめにお読みください。
ユーザーズガイド	本製品とソフトウェアの機能・操作方法、メンテナンスに関する情報、各種トラブルの解決方法について説明しています。 Discproducer Utility & Documents Disc に収録されています。ソフトウェアのインストール後は、スタートメニューから表示させることもできます。

Mac OS をお使いの場合(PP-100/PP-50 のみ)

スタートアップガイド（本書）	搬入後、本製品を梱包箱から取り出し、設置するまでの作業について説明しています。はじめにお読みください。 ※ ソフトウェアのインストールと設定については、「ユーザーズガイド for Mac」をご覧ください。
ユーザーズガイド for Mac	ソフトウェアのインストール、本製品とソフトウェアの機能・操作方法、メンテナンスに関する情報、各種トラブルの解決方法について説明しています。 Discproducer Utility & Documents Disc For Apple Mac OS に収録されています。ソフトウェアのインストール後は、[Launchpad]-[EPSON Software]-[EPSON Total Disc Maker] から表示させることもできます。

商標

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 - Apple、Mac、Mac OS は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
 - Intel、Pentium は Intel Corporation の登録商標です。
 - Adobe は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
 - EPSON はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

本文中のマークについて.....	2
掲載画面およびイラスト.....	2
マニュアル構成.....	2
商標.....	3

スタッカー3.....	28
スタッカー4 (PP-100のみ).....	29

ご使用の前に 5

■安全にお使いいただくために.....	5
電源に関するご注意.....	7
使用上のご注意.....	8
■CD/DVD/BD ディスクに関するご注意.....	10
■本製品の用途.....	10
■本製品に起因する付属的損害について.....	10
■本製品の使用限定について.....	10
■本製品の連続稼動について.....	10
■エラーレート測定機能について (PP-7050BDのみ).....	10

開梱と設置 11

■同梱品の確認.....	11
■保護材の取り外し.....	12
■設置.....	14
設置に適した場所.....	15
設置スペース.....	15

各部の名称と基本操作 17

■各部の名称と働き.....	17
■ランプ表示による本製品の状態確認.....	21
■電源のオン / オフ.....	23
電源のオン.....	23
電源のオフ.....	23
■ディスクカバーの開閉.....	25
ディスクカバーの開け方.....	25
ディスクカバーの閉め方.....	26
■スタッカーの取り扱い.....	27
スタッカー1 / スタッカー2.....	27

セットアップ 31

■電源コードの接続.....	31
■インクカートリッジの取り付け.....	32

インストールと設定 35

■インストールの前に.....	36
ソフトウェアの動作条件.....	37
■インストール.....	39
■作業フォルダーと発行ログの設定.....	44
■本製品の登録.....	46
■エラーレート設定 (PP-7050BDのみ).....	48
■本製品のプロパティー設定.....	50
プロパティー画面の表示方法.....	50
スタッカー設定.....	51
ドライブ設定.....	53
プリンター設定.....	55
■JOB 終了時の通知設定.....	56
■ソフトウェアのアンインストール.....	57
■ソフトウェアのバージョンアップ.....	58
■ユーザーズガイド (電子マニュアル) の 表示.....	59
Discproducer Utility & Documents Disc から 表示させる.....	59
スタートメニューから表示させる.....	59
■発行モードの選びかた.....	60
PP-100.....	60
PP-50BD/PP-50/PP-7050BD.....	62

ご使用前に

安全にお使いいただくために

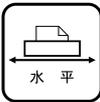
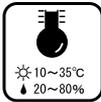
- 本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書および製品に添付されているその他の取扱説明書をお読みください。
- 本書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。

本書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

	この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。		この記号は、必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。
	この記号は、分解禁止を示しています。		この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
	この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。		この記号は、アース接続して使用することを示しています。
	この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。		

本製品は、次のような場所に設置してください。

水平で安定した場所	次の温度と湿度の場所
	

<ul style="list-style-type: none"> ● テレビ・ラジオに近い場所には設置しないでください。 本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。 ● 静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。 ● 「本製品底面より小さな台」の上には設置しないでください。 本製品底面のゴム製の脚が台からはみ出ていると、内部機構に無理な力がかかり、印刷・ディスクの搬送に悪影響を及ぼします。必ず本体より広い平らな面の上に、本製品底面の脚すべてが確実に載るように設置してください。 	
--	---

<p> 警告</p>	<p>本製品の通風孔をふさがないでください。 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。 次のような場所には設置しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 押し入れや本箱などの風通しが悪くて狭い場所 ● じゅうたんや布団の上 <p>壁際に設置する場合は、本体背面側の壁から約10cm以上離してください。また、本機の前面にはディスクカバーが開閉できるスペースが必要です。</p>	
	<p>アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p>	
<p> 注意</p>	<p>不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いたところなど）や小さなお子さまの手の届くところ、他の機器の振動が伝わる場所などには、設置・保管しないでください。 落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。</p>	
	<p>湿気やホコリの多い場所、水に濡れやすい場所、直射日光の当たる場所、温度や湿度の変化が激しい場所、冷暖房器具に近い場所に設置しないでください。 感電・火災・本製品の動作不良や故障につながるおそれがあります。</p>	

電源に関するご注意

 警告	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電のおそれがあります。</p>	
	<p>指定されている電源（AC100V）以外は使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p>	
	<p>電源コードのたこ足配線はしないでください。 発熱して火災になるおそれがあります。 電源（AC100V）から直接電源を取ってください。</p>	
	<p>破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口にご相談ください。 また、電源コードを破損させないために、次の点を守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードを加工しない ● 電源コードに重いものを載せない ● 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない ● 熱器具の近くに配線しない 	
	<p>電源プラグの取り扱いには注意してください。 取り扱いを誤ると感電・火災のおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しない ● 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む 	
	<p>電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。 コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。</p>	
	<p>付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p>	
	<p>安全のため必ず接地して使用してください。 添付の電源コードは、アース線付きの2ピンタイプですので、アース線接続端子付きコンセントに接続するなどして確実に接地してください。アース線の接続 / 取り外しは、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。</p>	
	<p>電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。</p>	
 注意	<p>長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>	

使用上のご注意

<p> 警告</p>	<p>煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。</p>	
<p>異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。</p>		
<p>(取扱説明書で指示されている以外の) 分解や改造はしないでください。</p>		
<p>本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。 ガスが滞留して引火による火災などの原因となるおそれがあります。</p>		
<p>各種ケーブル（コード）は、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。 発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。</p>		
<p>開口部から内部に、金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p>		
<p> 注意</p>	<p>本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。 特に、小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがをするおそれがあります。</p>	
<p>本製品とコンピューター（または他の機器）をケーブルで接続するときは、コネクタの向きを間違えないように注意してください。 各ケーブルのコネクタには向きがあります。本製品側およびコンピューター（または他の機器）側の双方に、向きを間違えてコネクタを接続すると、接続した双方の機器が故障するおそれがあります。</p>		
<p>本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さにしないでください。 本製品を輸送するときは、本製品を衝撃などから守るため、必ず本製品が梱包されていた箱に梱包してください。</p>		
<p>本製品を移動する場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。 コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。</p>		

 注意	<p>インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none">• 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。• 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師にご相談ください。• 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。 
	<p>インクカートリッジを分解したり、インクの補充・詰め替えを行わないでください。</p> 
	<p>インクカートリッジは強く振らないでください。 強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れるおそれがあります。</p> 
	<p>インクカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。またインクは飲まないでください。</p> 

CD/DVD/BD ディスクに関するご注意

本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。また、CD/DVD/BD ディスク内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。

- 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- 誤った使い方をしたとき
- 故障や修理のとき
- 天災により被害を受けたとき

なお、上記の場合に限らず、本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責も負いません。

本製品の用途

本製品は業務用製品であり、一般家庭用製品ではありません。

本製品に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェアなども含みます）によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失など）は、補償いたしかねます。

本製品の使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上でご使用いただくようお願いいたします。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

本製品の連続稼動について

24 時間以上の連続稼動により本製品に故障が生じた場合は、保証期間内であっても保証の対象にはなりませんので、ご注意ください。

また、本製品を 24 時間以上の連続稼動を前提として使用する場合は、エプソン販売にお問い合わせください。

エラーレート測定機能について(PP-7050BD のみ)

当社は、如何なる場合においても、PP-7050BD のエラーレート測定機能をお客様が使用し、または使用できなかったことにより生じた、いかなる損害の責任を負わず、また得べかりし利益の喪失についての責任をも負いません。

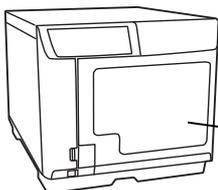
開梱と設置

同梱品の確認

開梱したら、付属品がすべてそろっていることと、本体および付属品に損傷がないことを確認してください。万一、不足や不良がある場合は、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

□ 本製品

PP-100



製品内部には、以下のスタッカーが入っています。



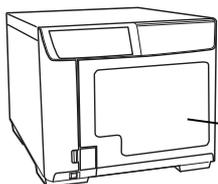
□スタッカー-1

□スタッカー-2

□スタッカー-3

*スタッカー-1 とスタッカー-2 は同じ部品です。

PP-50BD/PP-50/PP-7050BD



製品内部には、以下のスタッカーが入っています。

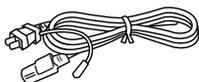


□スタッカー-1

□スタッカー-2

*スタッカー-1 とスタッカー-2 は同じ部品です。

□ 電源コード

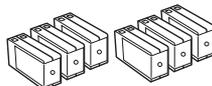


□ USB ケーブル



□ インクカートリッジ(6 個)

ブラック / マゼンタ / シアン /
イエロー / ライトマゼンタ / ライトシアン



□ Discproducer Utility & Documents Disc

- EPSON Total Disc Maker
- プリンタードライバー
- PP-100 ユーザーズガイド (PDF)
- PP-50BD/PP-50/PP-7050BD ユーザーズガイド (PDF)



□ PP-100/PP-50BD/PP-50/PP-7050BD スタートアップガイド (本書)

□ 保証書

PP-100 と PP-50 には、以下のものも付属されています。

□ Discproducer Utility & Documents Disc For Apple Mac OS

- EPSON Total Disc Maker
- プリンタードライバー
- PP-100/PP-100AP/PP-50 ユーザーズガイド for Mac (PDF)



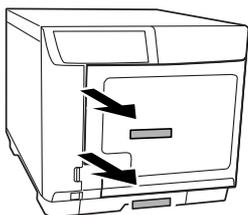
保護材の取り外し

輸送時の衝撃から守るために、保護材が取り付けられています。設置する前に、以下の保護材を取り外してください。

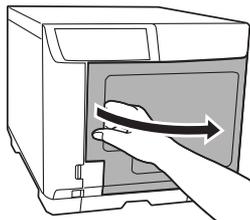
注意

保護材と梱包箱は、再輸送時に必要です。大切に保管しておいてください。

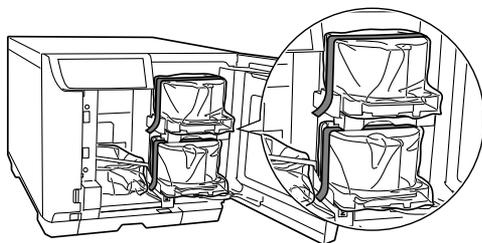
- 1** 保護テープ 2 枚をはがします。



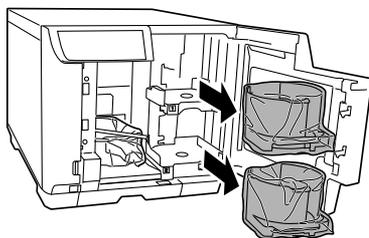
- 2** ディスクカバーを開けます。



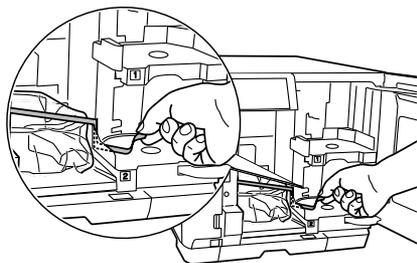
- 3** スタッカー 1 とスタッカー 2 の保護テープ 2 枚をはがします。



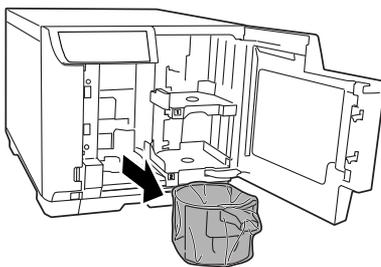
- 4** スタッカー 1 とスタッカー 2 を取り出します。



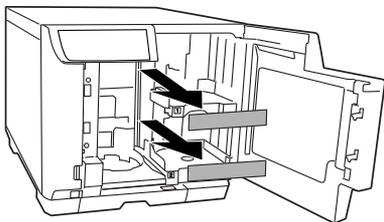
- 5** スタッカー 3 の保護テープをはがします。
(PP-100 のみ)



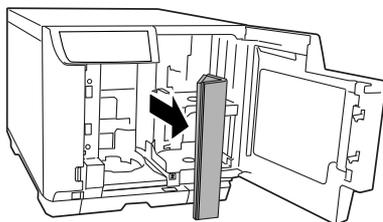
- 6** スタッカー 3 を取り出します。
(PP-100 のみ)



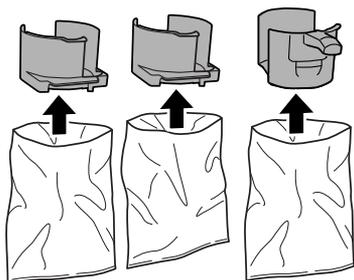
- 7** 保護材を固定しているテープ2枚をはがします。



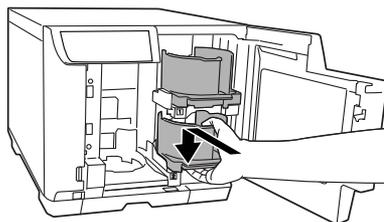
- 8** 保護材を取り出します。



- 9** 袋からスタッカー1、スタッカー2、スタッカー3（PP-100のみ）を取り出します。

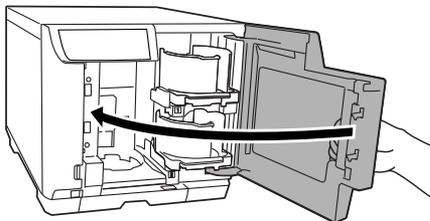


- 10** スタッカー1、スタッカー2、を取り付けます。



* PP-100の場合、スタッカー3は、セットアップ（本書31ページ「セットアップ」参照）が終わるまで取り付けしないでください。

- 11** ディスクカバーを閉めます。

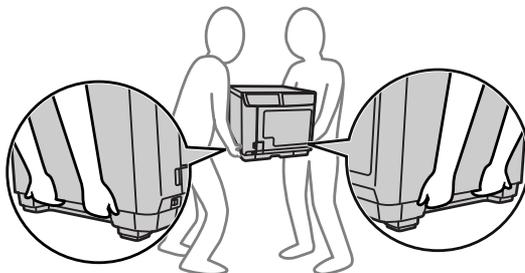


設置

設置に適した場所に十分なスペースを確保して設置します。



注意 ・ 本製品を持ち上げる際は、必ず2人で持ち上げてください。



本製品の質量は、PP-100 の場合約 24kg、PP-50BD、PP-50、PP-7050BD の場合約 21kg です。本製品を持ち上げる際は、上図のように本製品を二人で挟み、本製品側面のくぼみを持って持ち上げてください。左図以外の部分に手をかけて運ぶと本製品が破損する原因となります。特に、スタッカー4 (PP-100 のみ)、ディスクカバー、インクカートリッジカバーを開けた状態で持つと、製品を落とす危険性、および変形、破損するおそれがあります。

また、本製品を置くときは、本製品と設置面の間に指を挟まないように注意してください。

- **本製品を持ち上げる際は、ひざを十分に曲げるなどして無理のない姿勢で作業してください。**

無理な姿勢で持ち上げると、作業者がけがをしたり、本製品が破損する原因となります。

- **本製品を移動する際は、前後左右に10度以上傾けないでください。**

転倒などによる事故の原因となります。

- **本製品の天面に重い物を載せないでください。**

本製品に無理な力が掛かると故障の原因となります。

ただし、PP-100 は本製品を1台まで本製品天面に載せることは可能です。本製品を載せるときは、上下同じ向きで、外形を合わせて載せてください。その際、**落下、転倒には十分ご注意ください。また、2台以上は載せないでください。**

設置に適した場所

本製品は、次のような場所に設置してください。

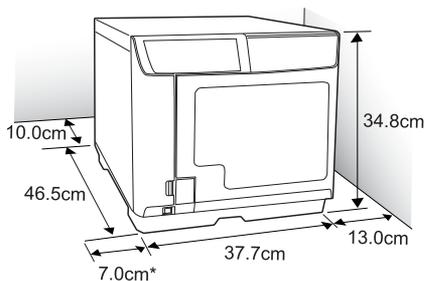
- 本製品の質量（PP-100：約 24kg、PP-50BD/PP-50/PP-7050BD：約 21kg）に十分耐えられる、水平で安定した場所
- 本製品底面が確実に載る、本製品底面よりも広い場所
- 本製品の通風孔をふさがない場所
- 振動や衝撃が加わらない場所
- 専用の電源コンセントが確保できる場所
- ディスクのセットや取り出しが無理なく行える場所
- 付属品の取り付けや消耗品の交換、普段のお手入れに支障のないよう、周囲に十分なスペースを確保できる場所
- 以下の条件を満たす場所

温度	動作時：10～35℃ 保存時：-20～40℃（40℃の場合、1ヶ月以内）
湿度	動作時：20～80%RH 保存時：5～85%RH（ただし結露しないこと）

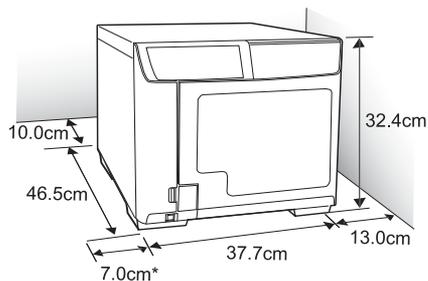
設置スペース

設置は、作業しやすいように十分なスペースを確保してください。壁際に設置する場合は、本体背面側の壁から約 10cm 以上離してください。また、本製品の前面にはディスクカバーが開閉できるスペースが必要です。

PP-100



PP-50BD/PP-50/PP-7050BD



* 本製品の左側面は、インクカートリッジカバーを開けるために 7cm 以上のスペースを確保してください。

参考

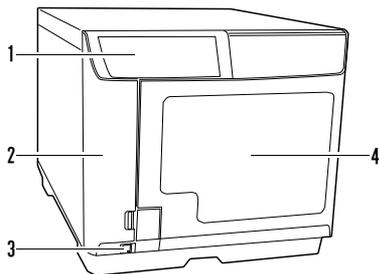
- 静電気の発生しやすい場所では、静電防止マットなどを使用して静電気の発生を防いでください。
- ホコリやチリ、タバコの煙が多い場所に設置しないでください。
- 高温高湿下でのご使用、保管は避けてください。レーベル面にじみや貼り付きの原因となる場合があります。



各部の名称と基本操作

各部の名称と働き

本体前面



1 操作パネル

本製品を操作します。また、本製品の状態を表示します。

操作パネルの詳細は、本書 20 ページ「操作パネル」を参照してください。

2 インクカートリッジカバー

インクカートリッジの取り付け / 交換時に開けます。

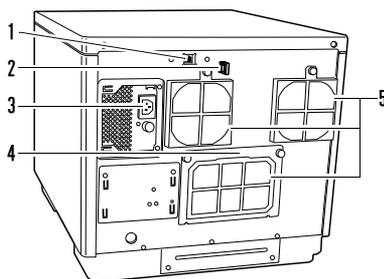
3 電源ボタン

本製品の電源をオン / オフにします。

4 ディスクカバー

ディスクを出し入れするときに開けます。

本体背面



1 USB インターフェイスコネクタ

USB ケーブルを差し込みます。

2 インターフェイスケーブル固定サドル

USB ケーブルを固定します。

3 AC インレット

電源コードを差し込みます。

4 背面プリンターカバー

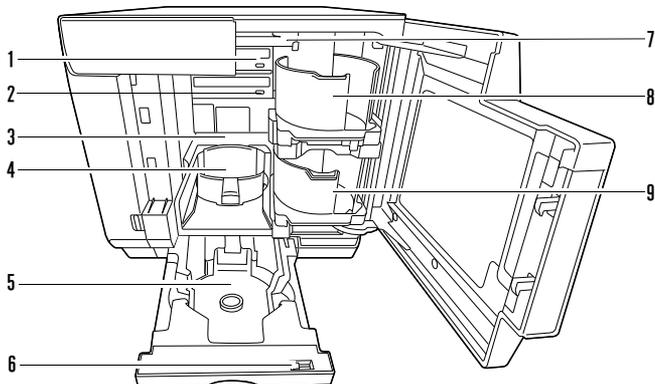
プリンタートレイからディスクが出てこなくなった場合に取り外します。

5 通風孔

本製品内の温度の上昇を防ぐため、内部で発生する熱を排出します。設置の際は、通風孔から 10cm 以上のすき間をあげ風通しを良くしてください。

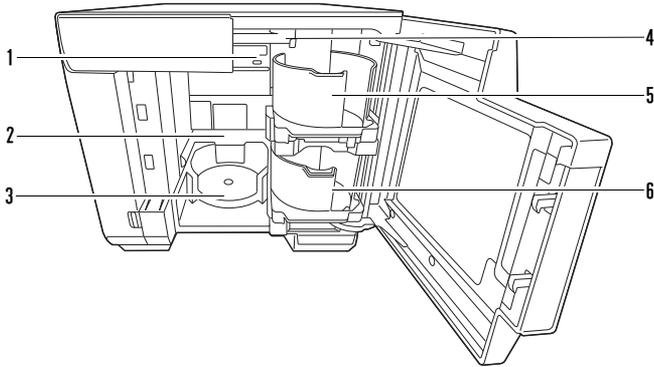
本体内部

PP-100



1	ドライブ1	ディスクの記録面にデータを書き込みます。
2	ドライブ2	ディスクの記録面にデータを書き込みます。
3	プリンター	ディスクのレーベル面に印刷します。
4	スタッカー3	ディスクの排出先として使用します。ディスクを約50枚まで収納できます。
5	スタッカー4	ディスクの排出先として使用します。ディスクを約5枚まで収納できます。
6	ロックレバー	スタッカー4をロック / 解除します。スタッカー3を使用するときは、必ずロックしてください。
7	アーム	ディスクを搬送します。
8	スタッカー1	ディスクの供給元として使用します。ディスクを50枚まで収納できます。
9	スタッカー2	ディスクの供給元 / 排出先として使用します。ディスクを50枚まで収納できます。

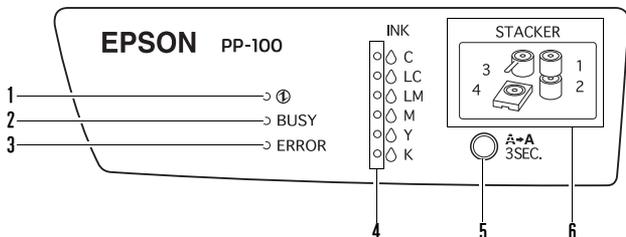
PP-50BD/PP-50/PP-7050BD



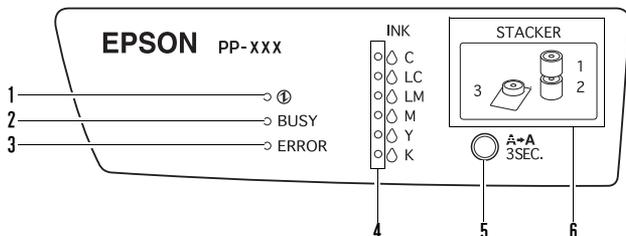
1	ドライブ	PP-50：ディスクの記録面にデータを書き込みます。 PP-50BD/PP-7050BD：ディスクの記録面にデータを書き込んだり、ディスクに記録されたデータを読み込んだりします。
2	プリンター	ディスクのレーベル面に印刷します。
3	スタッカー 3	ディスクの排出先として使用します。ディスクを約 20 枚まで収納できます。
4	アーム	ディスクを搬送します。
5	スタッカー 1	ディスクの供給元として使用します。ディスクを 50 枚まで収納できます。
6	スタッカー 2	ディスクの供給元 / 排出先として使用します。ディスクを 50 枚まで収納できます。

操作パネル

PP-100



PP-50BD/PP-50/PP-7050BD

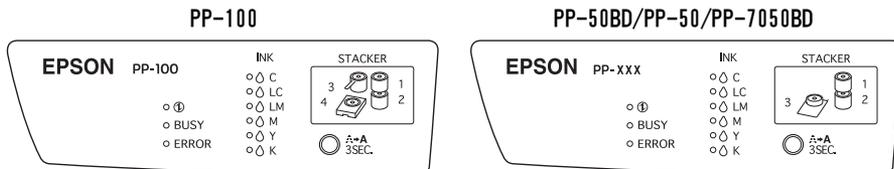


1	電源ランプ 電源をオンにすると点滅 / 点灯します。
2	ビジーランプ 実行中に点滅します。
3	エラーランプ エラーが発生すると点滅 / 点灯します。
4	インクランプ インクの状態に応じて、点滅 / 点灯します。
5	クリーニングボタン プリントヘッドのクリーニングをします。
6	スタッカーランプ スタッカーの状態に応じて、点滅 / 点灯します。

ランプ表示による本製品の状態確認

操作パネルのランプ表示による、本製品の状態を説明します。

本製品の状態は、ランプの点滅 / 点灯の組み合わせによっても表示されます。詳細は、「PP-100 ユーザーズガイド」または「PP-50BD/PP-50/PP-7050BD ユーザーズガイド」の「ランプが点滅 / 点灯している」を参照してください。



	名称	点滅 / 点灯	状態
①	電源ランプ		電源がオンの状態です。 電源ランプのみが点灯しているときは、データ待ちの状態です。
			初期化中です。 電源ランプが速い点滅をしているときは、終了処理中です。
BUSY	ビジーランプ		JOB* 実行中です。 PP-100 でビジーランプとスタッカーランプ 4 が速い点滅をしているときは、スタッカー4 を引き出さないでください。
ERROR	エラーランプ		カバー、ディスクの搬送、スタッカー、ドライブ、プリンターに関するエラーが発生しています。
			本体に異常が発生しています。
INK (C、LC、LM、M、Y、K)	インクランプ		点灯している色のインクが交換時期になったか、インクカートリッジが正しくセットされていない、または本製品で使用できないカートリッジがセットされています。 インクカートリッジの交換の詳細は、「PP-100 ユーザーズガイド」または「PP-50BD/PP-50/PP-7050BD ユーザーズガイド」の「インクカートリッジの交換」を参照してください。
			点滅している色のインクの残量が少なくなっています。 新しいインクカートリッジを用意してください。

JOB*：本製品が行うデータの書き込みや印刷などの処理のことです。

	名称	点滅 / 点灯	状態
STACKER	スタッカーランプ 1*	点灯 	ディスクが50枚を超えてセットされています。
		点滅 	発行前： スタッカー1が正しくセットされていません。 発行後： スタッカー1のディスクがなくなりました。
STACKER	スタッカーランプ 2*	点灯 	発行前： ディスクが50枚を超えてセットされています。 発行後： スタッカー2がフル（一杯）になりました。（排出先に設定している場合）
		点滅 	発行前： スタッカー2が正しくセットされていません。 発行後： スタッカー2のディスクがなくなりました。
STACKER	スタッカーランプ 3	点灯 	発行前（PP-100のみ）： 標準モードまたは外部排出モードでスタッカー3を [使用しない] に設定しているときに、スタッカー3がセットされています。 発行後： スタッカー3がフル（一杯）になりました。
		点滅 	PP-100 でバッチ処理モード時、または次の場合にスタッカー3がセットされていません。 ● 標準モードでスタッカー3を [使用する] に設定しているとき ● 外部排出モードでスタッカー3を [排出先] に設定しているとき
STACKER	スタッカーランプ 4 （PP-100のみ）	点灯 	スタッカー4がフル（一杯）になりました。
		点滅 	スタッカー4が引き出されています。 ビジーランプとスタッカーランプ4が速い点滅をしているときは、スタッカー4にディスクを排出中のため、スタッカー4を引き出さないでください。

*：スタッカーランプの表示について

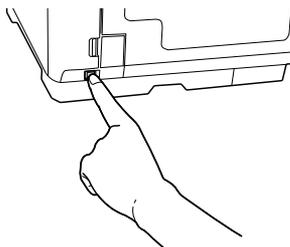
供給元スタッカーのディスクがなくなるとスタッカーランプが点滅しますが、点滅開始のタイミングはディスクがなくなるタイミングより少し前後することがあります。

電源のオン / オフ

ここでは、本製品の電源をオン / オフする方法を説明します。

電源のオン

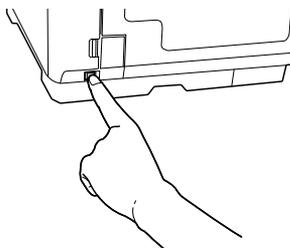
- 1 電源コードを接続します。
電源コードの接続方法は、本書 31 ページ「電源コードの接続」を参照してください。
- 2 電源ボタンを押します。



電源ランプが緑色に点滅後、点灯して、電源がオンになります。

電源のオフ

電源ランプが点滅するまで電源ボタンを押します。



電源ランプは点滅後、消灯して、電源がオフになります。

注意

- 電源をオフにしてもファンが回っている場合がありますが、約15分で自動的に止まります。
- 電源をオフにした後、ファンが回っている間に再度電源をオンにしても、本製品がパソコンに認識されない場合があります。その場合は、USB ケーブルを一度取り外し、再度接続してください。
- 本製品が動作している場合は、動作が終了して10秒以上経過してから電源をオフにしてください。

接続しているパソコンの電源がオンの状態で本製品の電源をオフにするときは、必ず下記の操作を行った後、電源をオフにしてください。ただし、Windows Vista では、Windows Vista の仕様により、下記の操作が行えないことがありますので、パソコンの電源をオフしてから本製品の電源をオフにしてください。

- ① Total Disc Maker、Total Disc Monitor、Total Disc Setup が起動している場合はすべて終了します。
- ② タスクトレイの [ハードウェアの安全な取り外し] をダブルクリックします。

注意

ダブルクリック



- ③ [デバイス コンポーネントを表示する] をチェックし、本製品に搭載されているドライブを選択します。
- ④ [停止] をクリックし、表示されるダイアログで [OK] をクリックします。
- ⑤ ステップ③、④を繰り返し、本製品に搭載されている 2 台目のドライブを停止します。(PP-100 のみ)

ディスクカバーの開閉

ディスクを供給元スタッカーにセットするときや、作成済みディスクをスタッカー2、またはスタッカー3から取り出すときは、ディスクカバーを下記の通りに開閉します。

ディスクカバーの開け方

取っ手に手を掛け、下図矢印の方向にディスクカバーを開けます。

PP-100、PP-50BD、PP-7050BD の場合

- JOB 実行中（ビジーランプ点滅中）は、ディスクカバーを開けないでください。書き込みや印刷の品質に影響を与える可能性があります。
- JOB 実行中にディスクカバーを開けると、警告ブザーが鳴り、実行中の JOB は復帰待ち状態になります。ディスクカバーを閉めると、JOB は自動的に再開します。
- JOB 実行中に、作成済みディスクの取り出しやブランクディスクの補充のためにディスクカバーを開けるときは、JOB を一時停止してから開けてください。JOB の一時停止方法は、「PP-100 ユーザーズガイド」または「PP-50BD/PP-50/PP-7050BD ユーザーズガイド」の「JOB の一時停止とキャンセル」を参照してください。
- 警告ブザーが鳴っている間はアームが動作しますので、安全のために絶対に手を入れないでください。
- 警告ブザーが鳴っている間はスタッカーを操作しないでください。アームが破損するおそれがあります。

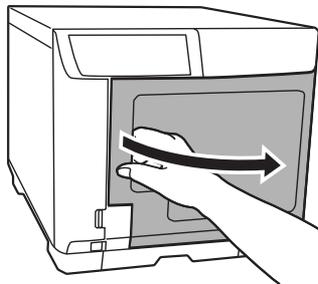
注意

PP-50 の場合

JOB 実行中（ビジーランプ点滅中）にディスクカバーを開けた場合は、必ず内部照明が消え、アームの動作が停止したことを確認してから、ディスクのセットや取り出しなどの操作を行ってください。アームの動作中は、絶対に手を入れたり、スタッカーを操作したりしないでください。また、開閉動作は静かに行ってください。

参考

PP-50 の場合、JOB 実行中にディスクカバーを開けると、実行中の JOB は復帰待ち状態になります。ディスクカバーを閉めると、JOB は自動的に再開します。

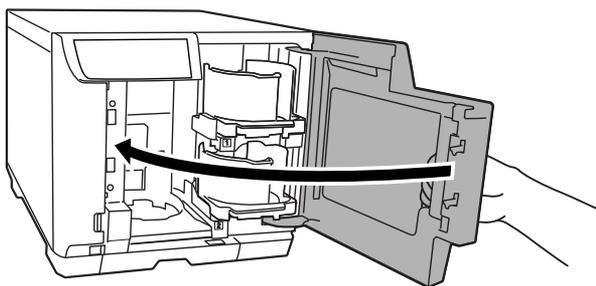


ディスクカバーの閉め方

注意

PP-50BD、PP-50、PP-7050BD では、ディスクカバーを閉める前に必ず、スタッカー 3 の周辺にディスクが残っていないこと、スタッカー 3 内のディスクが斜めになっていないことを確認してください。スタッカー 3 の周辺にディスクが残っていたり、スタッカー 3 内のディスクが斜めになったりしている状態でディスクカバーを閉めると、エラーが発生することがあります。

取っ手に手を掛け、下図矢印の方向にディスクカバーを閉めます。

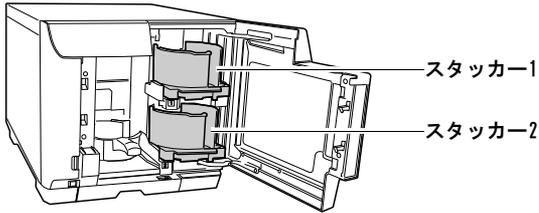


スタッカーの取り扱い

ここでは、各スタッカーの取り扱いについて説明します。

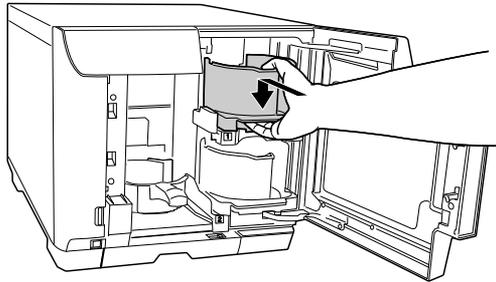
スタッカー1 / スタッカー2

スタッカー1 とスタッカー2 は同じ部品です。取り付け位置が異なるだけで、取り扱い方法も同じです。



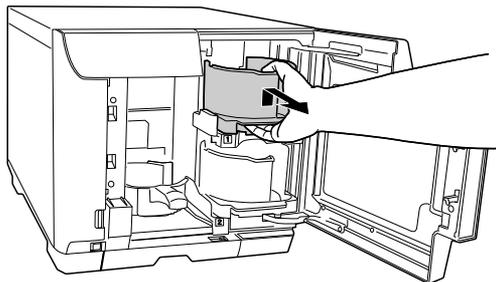
取り付け

スタッカーをくぼみに合わせて取り付けます。



取り外し

スタッカーを軽く持ち上げ、手前に引いて取り外します。



スタッカー3

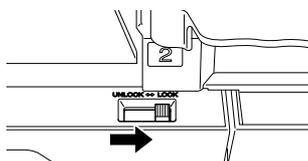
注意

PP-50BD、PP-50、PP-7050BD では、スタッカー3 は取り外せません。PP-100 のスタッカーとは形状も異なります。

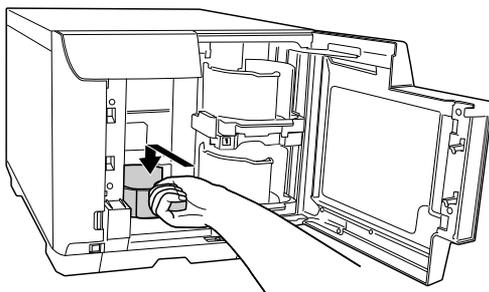
取り付け(PP-100のみ)

注意

- スタッカー3を取り付けるときは、スタッカー4にディスクが入っていないことを確認してから取り付けてください。
- スタッカー3を取り付けるときは、ロックレバーを [LOCK] にし、スタッカー4を引き出さないでください。

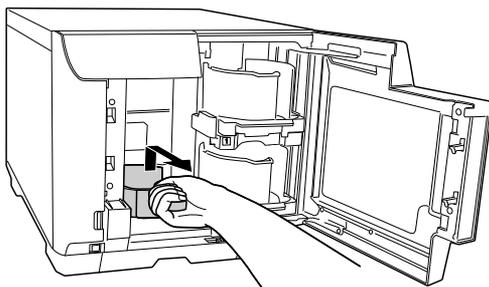


スタッカー3の取っ手を持ち、くぼみに合わせて取り付けます。



取り外し(PP-100のみ)

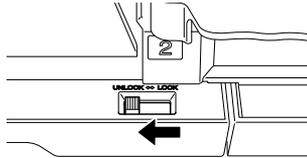
スタッカー3の取っ手を持ち、上に持ち上げてから手前に引いて取り外します。



スタッカー4 (PP-100のみ)

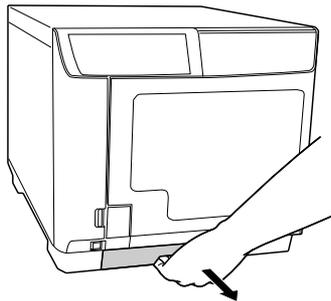
- スタッカー4を取り扱うときは、強い衝撃を与えないでください。
- ビジーランプとスタッカーランプ4が速い点滅をしているときは、スタッカー4を引き出さないでください。ディスクが破損するおそれがあります。
- スタッカー4を使用するときは、ロックレバーを [UNLOCK] にして使用してください。

注意



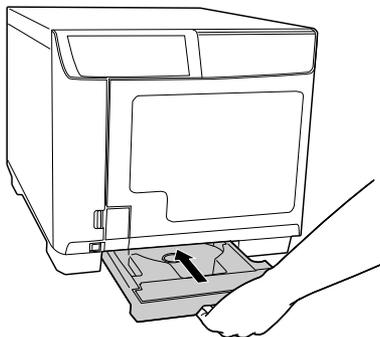
引き出す

スタッカー4の取っ手に手を掛け、スタッカーを引き出します。



押し込む

スタッカー4の取っ手に手を掛け、奥まで押し込みます。





セットアップ

注意

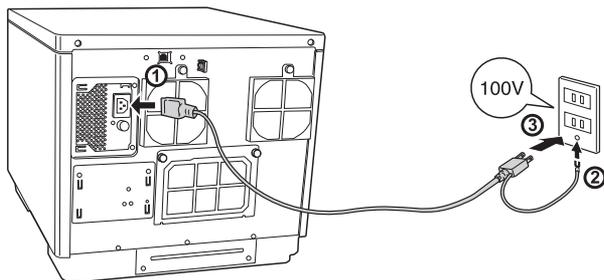
- セットアップを始める前に、本製品に付いている保護テープや保護材をすべて取り外したことを確認してください。取り外し方法は、本書 12 ページ「保護材の取り外し」を参照してください。
- スタッカー 3 が取り付けられていると、セットアップが正常に行えません。セットアップを始める前に、スタッカー 3 が取り外してあることを確認してください。
- Windows の共有設定を使って、本製品を共有プリンターとして使用することはできません。
- Windows OS をお使いの場合、ソフトウェアのインストール前に本製品をパソコンと接続しないでください。

電源コードの接続

注意

- アース線の接続 / 取り外しは、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- AC100V の電源以外は使用しないでください。

- 1 電源コードを本製品背面の AC インレットに接続します。(下図①)
- 2 アース線をアース線接続端子に接続します。(下図②)
- 3 電源プラグをコンセントに接続します。(下図③)



インクカートリッジの取り付け

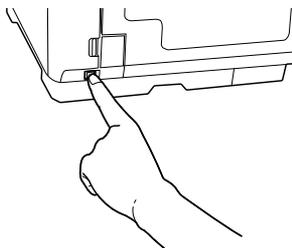
ここでは、初めてインクカートリッジを取り付けるときの手順を説明します。

日常のご使用の中でインクカートリッジを交換する手順は、「PP-100 ユーザーズガイド」または「PP-50BD/PP-50/PP-7050BD ユーザーズガイド」の「インクカートリッジの交換」を参照してください。

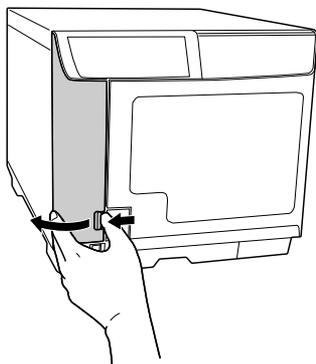
注意

- エプソン純正のインクカートリッジのご使用をお勧めします。純正品以外のインクカートリッジを使用すると、補償外の障害を生じるおそれがあります。
- 弊社は純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。
- 本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。非純正品を使用すると印刷品質に悪影響が出るなど、製品本来の性能を発揮できない場合があります。
- インクカートリッジは、高温下、凍結状態、および直射日光下で保存しないでください。
- モノクロ印刷を指定した場合でも、印刷、およびプリントヘッドを良好な状態に保つための動作で全色のインクが使われます。

- 1 電源ボタンを押し、電源をオンにします。
電源ランプが緑色に点滅します。



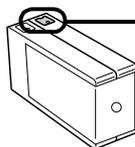
- 2 インクカートリッジカバー右下のつまみを押して開けます。



3 インクカートリッジを袋から取り出します。

- 良好な印刷品質を得るために、装着直前に透明なプラスチック袋から開封してください。また開封後は、6ヶ月以内に使い切ってください。開封した状態で長時間放置したインクカートリッジを使用すると、印刷品質が低下するおそれがあります。
- プラスチック袋を開封するときには、インクカートリッジが落下しないように注意してください。インクが漏れるおそれがあります。
- インクカートリッジのインク供給孔を下にして置かないでください。机などを汚すおそれがあります。また、ゴミなどの付着により本製品が正常に作動しないことがあります。
- インクカートリッジは、強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れることがあります。
- インクカートリッジに付いている緑色の基板部分には触れないでください。また、インクカートリッジに貼られているラベルやフィルムは、絶対にはがさないでください。正常にセット・動作・印刷ができなくなったり、インクが漏れたりするおそれがあります。

注意



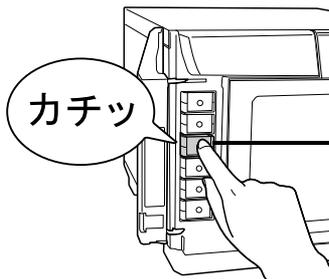
基板部分に
触れないでください。

- インクカートリッジは、個装箱に記載された期限までに使い切ってください。

4 6色すべてのインクカートリッジを本製品のインクカートリッジホルダーにカチッと音がするまで、静かに押し込みます。

インクカートリッジのラベルの色と、インクカートリッジホルダーのラベルの色を確認し、同じ色の位置にインクカートリッジをセットしてください。

インクカートリッジの  の部分を押し、まっすぐ確実に押し込みます。

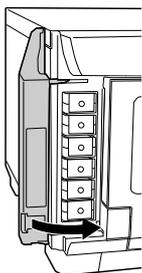


まっすぐに
押し込みます。

注意

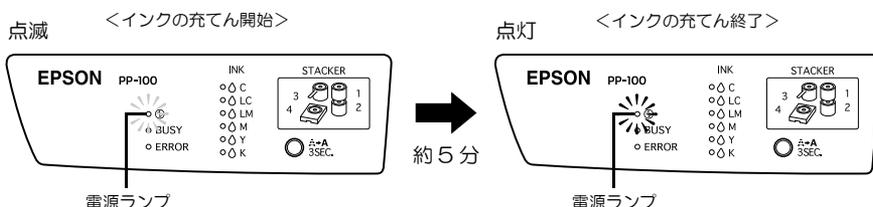
6色すべてのインクカートリッジをセットしてください。1色でもセットされていないとディスクの発行（書き込み / 印刷）ができません。

5 インクカートリッジカバーを開けます。



インクランプが消灯し、インクの充電が始まります。

インクの充電は、約5分かかります。電源ランプ（緑色）の点滅が点灯になると、インクの充電は終了です。



- 初めて使用するときには、本製品内部の準備（インクの充電）のために本製品が動作します。インクの充電中は電源ランプが点滅しますので、そのまましばらくお待ちください。終了すると電源ランプが点灯し、発行可能な状態になります。
- インクの充電中は電源をオフにしたり、インクカートリッジカバーを開けたりしないでください。これらの操作を行うと、インクの充電を再度実行するため、インクを著しく消費する原因になります。また、正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクランプが点滅 / 点灯しているときは、インクカートリッジが正しくセットされていません。正しくセットされているか確認してください。
- インクカートリッジを正しくセットしているにもかかわらず認識されない場合は、緑色の基板表面にゴミなどが付着している場合があります。柔らかい布などで拭き取った後、再度セットしてください。
- インクカートリッジを取り付けても正常に印刷できない場合は、クリーニングボタンを3秒間押し続けてください。回復しない場合は、この動作を1、2回程度繰り返してください。
- 本体の電源ボタンで電源をオフにするとプリントヘッドは自動的にキャップ（ふた）をされ、インクの乾燥を防ぎます。インクカートリッジ取り付け後、本製品を使用しないときは、必ず本体の電源ボタンで電源をオフにしてください。電源がオンの状態のまま、電源プラグを抜いたり、ブレーカーを切ったりしないでください。
- インクカートリッジを取り付けた後に本製品を移動・輸送するときは、インクカートリッジを取り付けたままの状態でも移動・輸送してください。
- 交換時以外は、インクカートリッジを取り外さないでください。

注意

参考

初めてインクカートリッジを取り付ける際（セットアップ時）は、充電によりインクが消費されますので、インクカートリッジの交換時期は通常より早くなります。

インストールと設定

本製品のセットアップが終わったら、本製品を使用するために必要なソフトウェアをパソコンにインストールし、基本的な設定を行います。

PP-100 と PP-50 では、Windows OS 版に加え、Mac OS 版ソフトウェアもご使用いただけます。本章では Windows OS 版をお使いの場合について説明していますので、Mac OS 版をお使いの場合は、「ユーザースガイド for Mac」の「インストールと設定」をご覧ください。

注意

Mac OS 版ソフトウェアは、Windows OS 版と一部仕様が異なります。

ユーザースガイド for Mac の表示方法

「ユーザースガイド for Mac」は、以下の手順で表示させることができます。

- 1 Mac を起動し、付属の「Discproducer Utility & Documents Disc For Apple Mac OS」をパソコンの CD ドライブにセットします。



- 2 次の画面が表示されたら、[マニュアル] をダブルクリックします。



- 3 [日本語] フォルダをダブルクリックします。
- 4 [Manual.pdf] をダブルクリックします。
「ユーザースガイド for Mac」が表示されます。

インストールの前に

インストールを行うと、以下のソフトウェアがインストールされます。(プリンタードライバーのみをインストールすることもできます。)

- プリンタードライバー
- EPSON Total Disc Setup
本製品を登録し、設定するためのソフトウェアです。
- EPSON Total Disc Monitor
本製品の状態をパソコンから確認するためのソフトウェアです。
- EPSON Total Disc Maker
書き込みデータの編集、レーベル面の印刷データの編集、および本製品での発行を行うためのソフトウェアです。

● 重要な通知

お客様は、このソフトウェアを使用することにより、当社製品を使用することができます。当社製品によりお客様は CD、DVD、および BD を複製することができます。お客様が CD、DVD および BD を複製するに際しては、当該 CD、DVD、および BD に記録されている著作物につき著作権が存在していないこと、お客様ご自身が著作権を有していること、もしくはお客様が著作権者より当該複製に関する許諾を受けていること、または当該 CD、DVD、および BD に記録されている著作物のお客様による複製行為が法令上認められていることのいずれかの条件を満たす必要があります。

これらの条件を満たさずに行う CD、DVD、および BD の複製行為は違法ですので、絶対に行わないでください。

- ソフトウェアは必ず本書の手順説明に従ってインストールしてください。
- インストールするには、管理者権限のあるユーザー (Administrators グループに属するユーザー) でログオンしてください。ユーザー権限でログオンするとインストールできません。
- EPSON Total Disc Maker をインストールすると、いくつかの Windows コンポーネントがインストールされることがあります。インストールされたコンポーネントは、EPSON Total Disc Maker をアンインストールしても、アンインストールされない場合があります。
- Windows Media Player 7 がインストールされている環境では、出力機器が認識されない場合があります。その場合は、EPSON Total Disc Maker のアンインストールを行い、パソコンを再起動させてから、EPSON Total Disc Maker を再インストールしてください。
- システムとユーザーの言語設定が異なる場合、インストールが適切に行えないことがあります。システムとユーザーの言語設定を同一にした環境でインストールを行ってください。

注意

ソフトウェアの動作条件

付属のソフトウェアを使用するために最小限必要なハードウェアおよびシステム条件は、以下の通りです。

OS (オペレーティングシステム)		<ul style="list-style-type: none"> • Windows XP (32bit SP3 以降) <ul style="list-style-type: none"> * Home Edition/Professional • Windows Vista (32bit/64bit SP2 以降) <ul style="list-style-type: none"> * Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate • Windows 7 (32bit/64bit SP1 以降) <ul style="list-style-type: none"> * Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate • Windows Server 2003 (32bit SP2 以降) <ul style="list-style-type: none"> * Standard/Enterprise • Windows Server 2003 R2 (32bit SP2 以降) <ul style="list-style-type: none"> * Standard/Enterprise • Windows Server 2008 (32bit/64bit SP2 以降) <ul style="list-style-type: none"> * Standard/Enterprise • Windows Server 2008 R2 (64bit SP1 以降) <ul style="list-style-type: none"> * Standard/Enterprise
CPU	Windows XP/ Windows Vista/ Windows 7/ Windows Server 2003/ Windows Server 2003 R2	PP-100/PP-50: Intel Pentium 4(または互換プロセッサ) 1.4GHz 以上 PP-50BD/PP-7050BD: Core Duo T2700/Core2Duo E6300 以上 (または同等の互換プロセッサ)
	Windows Server 2008/ Windows Server 2008 R2	PP-100/PP-50: Intel Pentium 4(または互換プロセッサ) 2.0GHz 以上 PP-50BD/PP-7050BD: Core Duo T2700/Core2Duo E6300 以上 (または同等の互換プロセッサ)
メモリー	Windows XP/ Windows Server 2003/ Windows Server 2003 R2	PP-100/PP-50: 512MB 以上 PP-50BD/PP-7050BD: 1GB 以上
	Windows Vista/ Windows 7 32bit	1GB 以上
	Windows 7 64bit/ Windows Server 2008/ Windows Server 2008 R2	2GB 以上

HDD 空き容量	Windows XP	PP-100/PP-50 : 10GB 以上 PP-50BD/PP-7050BD : 100GB 以上
	Windows Server 2003/ Windows Server 2003 R2	PP-100/PP-50 : 12.9GB 以上 PP-50BD/PP-7050BD : 100GB 以上
	Windows Vista	PP-100/PP-50 : 25GB 以上 PP-50BD/PP-7050BD : 100GB 以上
	Windows 7 32bit	PP-100/PP-50 : 26GB 以上 PP-50BD/PP-7050BD : 100GB 以上
	Windows 7 64bit	PP-100/PP-50 : 30GB 以上 PP-50BD/PP-7050BD : 100GB 以上
	Windows Server 2008/ Windows Server 2008 R2	PP-100/PP-50 : 50GB 以上 PP-50BD/PP-7050BD : 100GB 以上
HDD 回転数		7200rpm 以上
ディスプレイ		XGA (1024×768 ピクセル) 以上 65,536 色以上
インターフェイス		USB 2.0 ただし、以下の条件を満たす必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> • USB 2.0 規格に準拠していること • Hi-Speed USB パフォーマンスを確保していること ATI 製チップセットの USB 2.0 インターフェイスには未対応です。 本製品が動作しないチップセットについては、エプソンのホームページ (http://www.epson.jp/disc/) を確認してください。
ソフトウェア		Windows Media Player 6.4 以上がインストールされていること
その他		音楽 CD を作成する場合： サウンドデバイスが搭載され、対応する適切なドライバーがインストールされていること

注意

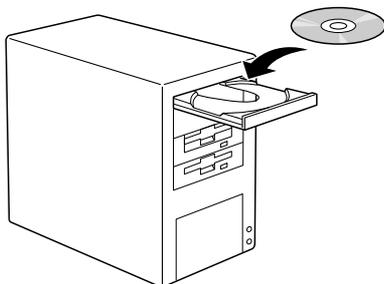
- 市販のライティングソフトやウイルスチェックソフトなどがインストールされている環境、および本製品以外の USB 機器が接続されている環境では、本製品が正しく動作しない場合があります。
- コピー元ドライブは、コマンドや動作が MMC4 以上に準拠し、サブチャネルの読み取り可能なドライブを使用してください。

インストール

ここでは、ソフトウェアをインストールする手順を説明します。

注意 インストール前に本製品をパソコンと接続しないでください。

- 1 本製品の電源がオンであることを確認します。
- 2 Windows を起動し、本製品に同梱の「Discproducer Utility & Documents Disc」(DVD-ROM) をパソコンの DVD を読み込める光学ドライブにセットします。



参考

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 で「自動再生」画面が表示されたら、[InstallNavi.EXEの実行] をクリックして操作を続行してください。

- 3 以下の画面が表示されたら、[EPSON Total Disc Maker] をクリックします。



画面が表示されないときは・・・

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 の場合

[スタート] (Windows 7/Windows Vista は ) - [コンピュータ] の順にクリックし、DVD-ROM のアイコンをダブルクリックして開きます。次に、[InstallNavi.EXE] アイコンをダブルクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003 の場合

[スタート] - [マイコンピュータ] の順にクリックし、DVD-ROM のアイコンをダブルクリックして開きます。次に、[InstallNavi.EXE] アイコンをダブルクリックします。

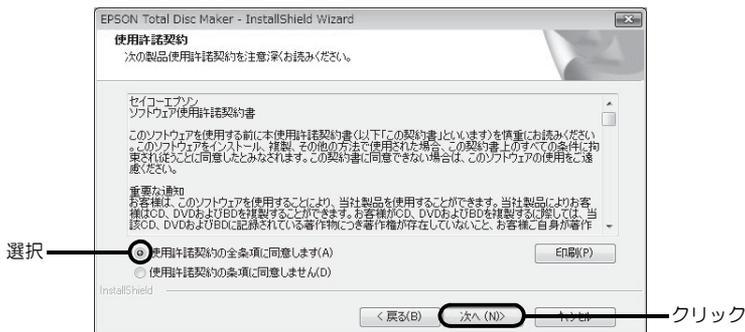
参考

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 で「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは [許可] をクリックしてください。なお、管理者のパスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

4 [次へ] をクリックします。



5 使用許諾契約の内容をよくお読みになり、同意する場合は [使用許諾契約の全条項に同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。



- 6 インストール先のフォルダーを確認し、[次へ]をクリックします。フォルダーを変更する場合は[変更]をクリックしてフォルダーを指定し、[次へ]をクリックします。



- 7 使用する機種種をチェックし、[次へ]をクリックします。



- 8 [すべて]が選択されていることを確認し、[次へ]をクリックします。



参考

プリンタードライバーのみをインストールするときは、[プリンタードライバー]を選択してください。

9 [インストール]をクリックします。



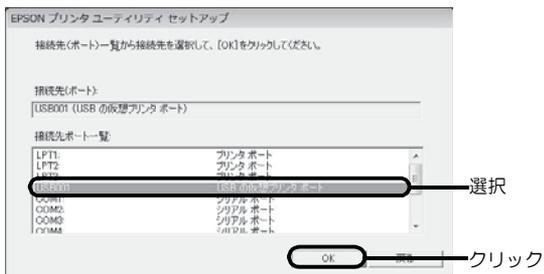
しばらくすると、プリンターユーティリティーをセットアップする画面が表示されます。



接続先（ポート）を手動で設定する場合は、以下の手順を実行してください。自動で設定する場合は、ステップ 10 に進んでください。

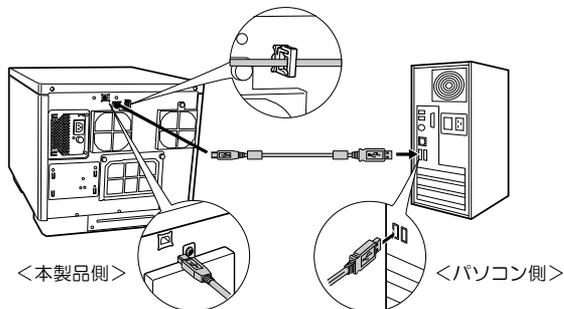
- ① [手動設定] をクリックします。
- ② [接続先ポート一覧] で [USB001 (USB の仮想プリンターポート)] を選択し、[OK] をクリックします。

参考



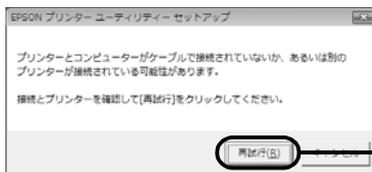
- ③ ステップ 10 に進みます。

- 10** 同梱の USB ケーブル（USB 2.0 対応）を使用し、本製品をパソコンに接続します。USB ケーブルで本製品とパソコンを接続し、USB ケーブルをインターフェースケーブル固定サドルに引っ掛けます。USB ケーブルは、奥までしっかりと差し込んでください。パソコン側は USB ケーブルが奥までしっかりと差さらない場合がありますが、突き当たるまで差し込んであれば問題ありません。

**注意**

USB ケーブルは、USB ハブを中継せずに直接パソコンに接続してください。

[EPSON プリンター ユーティリティ セットアップ] ダイアログが表示されて 2 ～ 3 分後に、以下のダイアログが表示された場合は、[再試行] をクリックしてください。

参考

- 11** [完了] をクリックします。



以上で、ソフトウェアのインストールは終了です。

インストールが完了すると、EPSON Total Disc Setup が自動的に起動し、[発行時の共通設定] 画面が表示されます。続けて、作業フォルダーと発行ログの設定を行ってください。（本書 44 ページ「作業フォルダーと発行ログの設定」参照）

作業フォルダーと発行ログの設定

EPSON Total Disc Setup で、ディスクの発行作業を行うための作業フォルダーをハードディスク上に作成します。

また、発行ログの記録の設定を行います。発行ログは、本製品の保守・サポートに役立ちます。

注意

これらの設定は、登録されているすべての CD/DVD/BD パブリッシャー（PP-100N を除く）共通に設定されます。

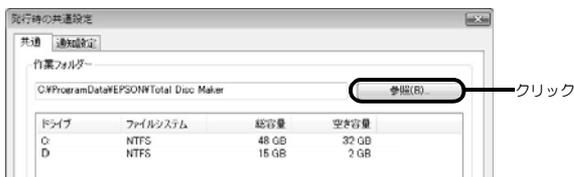
- 1 [発行時の共通設定] 画面が表示されていない場合は、EPSON Total Disc Setup を起動し、[ツール] メニューの [発行時の共通設定] をクリックします。

EPSON Total Disc Setup の起動：

[スタート] (Windows 7/Windows Vista は ) - [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [EPSON Total Disc Maker] - [EPSON Total Disc Setup] の順にクリックします。



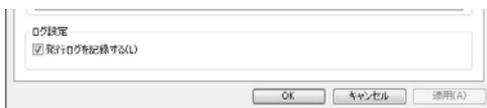
- 2 [発行時の共通設定] 画面で、[参照 ...] をクリックし、作業フォルダーを作成する場所を指定します。



注意

十分な空き容量のあるドライブを選択してください。必要なハードディスクの空き容量は、本書 37 ページ「ソフトウェアの動作条件」を参照してください。

- 3 発行ログの記録の設定を行います。



チェックボックスがチェックされていると、本製品の使用履歴がログファイルとして保存されます。

参考

ログファイルは、本製品を接続しているパソコンに保存されます。200MB を超えると、古いものから順に削除されていきます。

- 4 [OK] をクリックします。

以上で、作業フォルダーと発行ログの設定は終了です。

インストール時に接続先（ポート）を手動で設定した場合は、続けて本製品の登録を行ってください。（本書 46 ページ「本製品の登録」参照）

インストール時に接続先（ポート）を自動で設定した場合は、本製品の登録作業は必要ありません。続けて本製品のプロパティの設定を行ってください。（本書 50 ページ「本製品のプロパティ設定」参照）

本製品の登録

EPSON Total Disc Setup で本製品をパソコンに登録します。インストール時に接続先（ポート）を自動で設定した場合は、本製品の登録作業は必要ありません。

- 1 本製品がパソコンと USB ケーブルで接続され、電源がオンになっていることを確認します。
- 2 EPSON Total Disc Setup が起動していない場合は、以下の手順で起動します。
[スタート] (Windows 7/Windows Vista は ) - [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [EPSON Total Disc Maker] - [EPSON Total Disc Setup] の順にクリックします。
- 3  [登録] をクリックします。



- 4 [ローカル CD/DVD/BD パブリッシャー] が選択されていることを確認し、[次へ] をクリックします。



- 5 登録する本製品 (CD/DVD/BD パブリッシャー) を [CD/DVD/BD パブリッシャー一覧] から選択し、[次へ] をクリックします。



- 6 [名前] に任意の名前を入力し、[OK] をクリックします。



以上で、本製品の登録は終了です。

PP-7050BD を使用する場合は、続けてエラーレート設定を行ってください。(本書 48 ページ「エラーレート設定 (PP-7050BD のみ)」参照)

その他の機種を使用する場合は、続けて本製品のプロパティの設定を行ってください。(本書 50 ページ「本製品のプロパティ設定」参照)

エラーレート設定(PP-7050BDのみ)

PP-7050BDでエラー測定機能を使用する場合は、エラーレート設定を行います。

参考

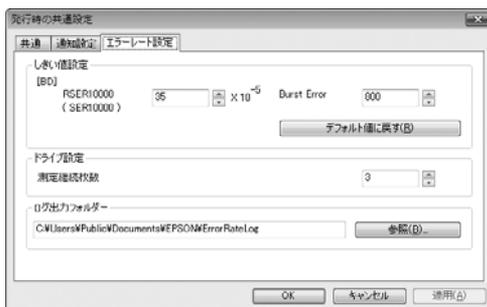
エラーレート測定については、「PP-50BD/PP-50/PP-7050BD ユーザーズガイド」の「エラーレート測定を行う (PP-7050BDのみ)」を参照してください。

- 1 EPSON Total Disc Setup が起動していない場合は、以下の手順で起動します。
[スタート] (Windows 7/Windows Vista は) - [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [EPSON Total Disc Maker] - [EPSON Total Disc Setup] の順にクリックします。

- 2 [ツール]メニューの [発行時の共通設定] をクリックします。



- 3 [エラーレート設定] タブをクリックします。
[エラーレート設定] 画面が表示されます。



- 4 しきい値設定、ドライブ設定、ログ出力フォルダーの設定を行います。

しきい値設定

エラーレート測定のしきい値を設定します。

- RSER10000 (SER10000) : アーカイブディスクを使用する場合は RSER10000、その他のディスクを使用する場合は SER10000 が測定されます。
- Burst Error : アーカイブディスクを使用する場合のみ測定されます。

ドライブ設定(測定継続枚数)

エラーレート測定モードでのエラーレート測定の結果が何枚連続してしきい値を超えたらJOBを一時停止させるかを、0～50枚から選択します。

ログ出力フォルダー

エラーレート測定結果のログファイルを出力するフォルダーを指定します。

注意

- お使いのパソコンのハードディスクの空き容量を十分に確保したい場合は、定期的にログファイルの移動または削除を行ってください。
- ログファイルの読み方は、EPSON Total Disc Maker のヘルプを参照してください。

5 [OK] をクリックします。

以上で、エラーレート設定は終了です。

続けて本製品のプロパティの設定を行ってください。（本書 50 ページ「本製品のプロパティ設定」参照）

本製品のプロパティー設定

EPSON Total Disc Setupのプロパティー画面で、スタッカー、ドライブ、プリンターの設定を行います。

プロパティー画面の表示方法

- 1 本製品がパソコンと USB ケーブルで接続され、電源がオンになっていることを確認します。
- 2 EPSON Total Disc Setup が起動していない場合は、以下の手順で起動します。
[スタート] (Windows 7/Windows Vista は ) - [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [EPSON Total Disc Maker] - [EPSON Total Disc Setup] の順にクリックします。
- 3 本製品を選択し、 [プロパティー] をクリックします。



[プロパティー] 画面が表示されます。



参考

- [プロパティー] 画面は、以下の方法でも表示できます。
 - * [編集] メニューの [プロパティー] をクリックする。
 - * EPSON Total Disc Maker の発行ビューの  [プロパティー] をクリックする。
- プリンター名を変更する場合は、プリンター名に UNICODE 文字を使用しないでください。デバイスを正しく認識できません。

スタッカー設定

プロパティ画面（本書 50 ページ参照）で、発行するディスクの種類や枚数などによって、スタッカー設定を行います。設定が終わったら、[OK] または [適用] をクリックします。

PP-100 の場合

発行モード

参考

ディスクの用途や枚数に適した発行モードを選択することで、効率よくディスクを発行することができます。本書 60 ページ「発行モードの選びかた」を参考に、発行モードを設定してください。

次の 3 つのモードから選択します。工場出荷時には、標準モードに設定されています。

発行モード	説明
標準モード	<p>スタッカー 1 がディスクの供給元になります。排出先は、ユーザーがスタッカー 2、スタッカー 3、またはスタッカー 4 から選択できます。</p> <p>排出先にスタッカー 2 またはスタッカー 3 を選択すると、ディスクを補充したり、作成済みディスクを取り出ししたりすることなく、最大 50 枚のディスクを発行できます。</p> <p>排出先にスタッカー 4 を選択すると、発行処理中でも JOB を一時停止することなく、作成したディスクを簡単に取り出せます。</p> <p>ディスクの補充と取り出しを繰り返せば、最大 1000 枚のディスクを連続で発行できます。</p> <p>標準モードで発行する手順は、「PP-100 ユーザーズガイド」の「50 枚のディスクを一括発行する（標準モード）」を参照してください。</p>
外部排出モード	<p>スタッカー 1 とスタッカー 2 に種類の違うディスクをセットして、ユーザーが必要に応じてスタッカーを選択して発行すれば、ディスクを入れ替えることなく、スタッカーを選択するだけで必要なディスクを発行できます。</p> <p>スタッカー 1 とスタッカー 2 に同じ種類のディスクをセットし、供給元スタッカーの設定を [オート] にすると、ディスクを補充することなく、作成済みディスクを取り出ししながら、100 枚連続で発行できます。ディスクの補充と取り出しを繰り返せば、最大 1000 枚のディスクを連続で発行できます。</p> <p>排出先は、ユーザーがスタッカー 3 またはスタッカー 4 から選択できます。排出先をスタッカー 4 に設定すると、発行処理中でも JOB を一時停止することなく、作成したディスクを簡単に取り出せます。</p> <p>外部排出モードで発行する手順は、「PP-100 ユーザーズガイド」の「用途に応じて 2 種類のディスクを発行する（外部排出モード）」を参照してください。</p>
バッチ処理モード	<p>スタッカー 1 とスタッカー 2 がディスクの供給元、スタッカー 2 とスタッカー 3 が排出先になります。スタッカー 1 とスタッカー 2 にディスクを 50 枚ずつセットすると、ディスクを補充したり、作成済みディスクを取り出ししたりすることなく、同じディスクを 100 枚連続で発行できます。ディスクの補充と取り出しを繰り返せば、最大 1000 枚のディスクを連続で発行できます。</p> <p>バッチ処理モードで発行する手順は、「PP-100 ユーザーズガイド」の「100 枚のディスクを一括発行する（バッチ処理モード）」を参照してください。</p>

スタッカー1

スタッカー1にセットするディスクの種類を選択します。

スタッカー2

外部排出モードの場合のみ、スタッカー2にセットするディスクの種類を選択します。

参考

- 標準モードの場合、[排出先] と表示されます。
- バッチ処理モードの場合、[スタッカー1] で選択したディスクの種類が表示されます。

スタッカー3

標準モードまたは外部排出モードのみ、次のどちらかを選択します。

- 使用する： 標準モードでスタッカー3を作成済みディスクまたはエラーディスクの排出先として使用したいとき、または外部排出モードで排出先として使用したいときに選択します。
- 使用しない： スタッカー4を排出先として使用したいときに選択します。

参考

バッチ処理モードの場合、[排出先] と表示されます。

PP-50BD/PP-50/PP-7050BD の場合

発行モード

参考

ディスクの用途や枚数に適した発行モードを選択することで、効率よくディスクを発行することができます。本書 60 ページ「発行モードの選びかた」を参考に、発行モードを設定してください。

PP-50BDは、標準モード、少量発行モード、または読み込みモードから選択します。

PP-50は、標準モードまたは少量発行モードから選択します。

PP-7050BDは、標準モード、少量発行モード、読み込みモード、またはエラーレート測定モードから選択します。

工場出荷時には、いずれも少量発行モードに設定されています。

発行モード	説明
標準モード	スタッカー1がディスクの供給元になります。排出先は、ユーザーがスタッカー2またはスタッカー3から選択できます。 排出先にスタッカー2を選択すると、ディスクを補充したり、作成済みディスクを取り出したりすることなく、最大50枚のディスクを発行できます。 ディスクの補充と取り出しを繰り返せば、最大1000枚のディスクを連続で発行できます。 標準モードで発行する手順は、「PP-50BD/PP-50/PP-7050BD ユーザーズガイド」の「50枚のディスクを一括発行する（標準モード）」を参照してください。

<p>少量発行モード</p>	<p>スタッカー1とスタッカー2に種類の違うディスクをセットして、ユーザーが必要に応じてスタッカーを選択して発行すれば、ディスクを入れ替えることなく、スタッカーを選択するだけで必要なディスクを発行できます。発行したディスクは、スタッカー3に排出されます。</p> <p>スタッカー1とスタッカー2に同じ種類のディスクをセットし、供給元スタッカーの設定を[オート]にすると、ディスクを補充することなく、作成済みディスクを取り出しながら、100枚連続で発行できます。ディスクの補充と取り出しを繰り返せば、最大1000枚のディスクを連続で発行できます。</p> <p>少量発行モードで発行する手順は、「PP-50BD/PP-50/PP-7050BD ユーザーズガイド」の「用途に応じて2種類のディスクを発行する（少量発行モード）」を参照してください。</p>
<p>読み込みモード</p>	<p>スタッカー1にセットしたディスクを読み込んで、接続したパソコンのハードディスクに保存します。データの書き込み、レーベル印刷は行いません。</p> <p>読み込み済みのディスクは、スタッカー2に排出されます。</p> <p>読み込みの手順は、「PP-50BD/PP-50/PP-7050BD ユーザーズガイド」の「ディスクからデータをコピーする」を参照してください。</p>
<p>エラーレート測定モード</p>	<p>スタッカー1にセットしたディスク（BD）のエラーレート測定を行います。データの書き込み、レーベル印刷は行いません。</p> <p>測定結果があらかじめ設定したしきい値以下のディスクは、スタッカー2に排出されます。しきい値を超えたディスクは、エラーディスクとしてスタッカー3に排出されます。</p> <p>エラーレート測定の手順は、「PP-50BD/PP-50/PP-7050BD ユーザーズガイド」の「エラーレートを測定する（PP-7050BDのみ）」を参照してください。</p>

スタッカー1

スタッカー1にセットするディスクの種類を選択します。

参考

- 読み込みモード（PP-50BD/PP-7050BDのみ）の場合、[供給元]と表示されます。
- エラーレート測定モード（PP-7050BDのみ）の場合、[供給元]と表示されます。

スタッカー2

少量発行モードの場合のみ、スタッカー2にセットするディスクの種類を選択します。

参考

- 標準モードの場合、[排出先]と表示されます。
- 読み込みモード（PP-50BD/PP-7050BDのみ）の場合、[排出先]と表示されます。
- エラーレート測定モード（PP-7050BDのみ）の場合、[排出先]と表示されます。

ドライブ設定

プロパティ画面（本書50ページ参照）で、使用するドライブの設定を行います。設定が終わったら、[OK]または[適用]をクリックします。

PP-100 の場合

使用するドライブ

書き込みに使用するドライブを以下から選択します。

項目	説明
両方使用	ドライブ1とドライブ2の両方を使用し、ディスクを書き込みます。2台のドライブを使用することにより効率的に処理できます。どちらかのドライブが何らかの原因で書き込みができなくなったときは、自動的に他方のドライブのみを使用します。
ドライブ1のみ使用	ドライブ1のみ使用します。
ドライブ2のみ使用	ドライブ2のみ使用します。

書き込みリトライ回数

ディスクの書き込み途中でエラーが発生した場合に書き込みを再実行する回数を、0～9回から選択します。

参考

- 書き込みリトライ回数を設定すると、書き込みの途中でエラーが発生した場合でも、JOBの処理が一時停止することなく再実行されます。
- 書き込みエラーの原因と対処方法は、「PP-100 ユーザーズガイド」の「ディスク書き込みのトラブル」を参照してください。

PP-50BD/PP-7050BD の場合

書き込みリトライ回数(読み込みモード時を除く)

ディスクの書き込み途中でエラーが発生した場合に書き込みを再実行する回数を、0～9回から選択します。

読み込み継続枚数(読み込みモード時のみ)

何枚連続して読み込みエラーが発生したらJOBの処理を停止させるかを、0～9枚から選択します。

読み込みエラーが発生しても発行処理を継続する(読み込みモードのみ)

このチェックボックスにチェックすると、読み込みエラーが発生してもJOBの処理は停止されません。

参考

- 書き込みリトライ回数を設定すると、書き込みの途中でエラーが発生した場合でも、JOBの処理が一時停止することなく再実行されます。
- 書き込み / 読み込みエラーの原因と対処方法は、「PP-50BD/PP-50/PP-7050 ユーザーズガイド」の「ディスク書き込み / 読み込みのトラブル」を参照してください。
- 読み込みエラーが発生したディスクは、エラーディスクとしてスタッカー3に排出されます。

PP-50 の場合

書き込みリトライ回数

ディスクの書き込み途中でエラーが発生した場合に書き込みを再実行する回数を、0～9回から選択します。

参考

- 書き込みリトライ回数を設定すると、書き込みの途中でエラーが発生した場合でも、JOBの処理が一時停止することなく再実行されます。
- 書き込みエラーの原因と対処方法は、「PP-50BD/PP-50/PP-7050 ユーザーズガイド」の「ディスク書き込みのトラブル」を参照してください。

プリンター設定

プロパティ画面（本書 50 ページ参照）で、プリンターの設定を行います。設定が終わったら、[OK] または [適用] をクリックします。

プリンター名

プリンタードライバーを選択します。

エラーが発生したディスクにエラーマークをつける

このチェックボックスにチェックすると、下記のエラーディスクにエラーマークが印刷されます。ディスクの発行後、書き込みが正常に行えなかったディスクを区別するのに役立ちます。

- 書き込み時にエラーが発生したディスク
- PP-7050BD でのエラーレート測定結果がしきい値を超えたディスク
(ディスクの発行時に測定する場合のみ。エラーレート測定モードでは印刷されません。)

参考

- 以下の原因で書き込みができなかった場合は、エラーマークは印刷されません。
 - * EPSON Total Disc Monitor で JOB をキャンセルしたとき
 - * [スタッカー設定] の [スタッカー1]、[スタッカー2] で選択したディスクと異なる種類のディスクを供給元スタッカーにセットしたとき
 - * エラーマークを印刷するために必要なインク残量がなかったとき
 - * フェイタルエラーのとき
- PP-100 の場合、エラーディスクが排出されるスタッカーは、設定した発行モードによって異なります。
 - * 標準モード：スタッカー3またはスタッカー4に排出
 - * 外部排出モード：スタッカー3またはスタッカー4に排出
 - * バッチ処理モード：スタッカー2またはスタッカー3に排出
- PP-50BD、PP-50、PP-7050BD の場合、エラーディスクは、スタッカー3に排出されます。

以上で、本製品のプロパティ設定は終了です。

続けて、JOB 終了時の通知設定を行ってください。（本書 56 ページ「JOB 終了時の通知設定」参照）

JOB 終了時の通知設定

JOB が終了したら、パソコンの画面にメッセージを表示して知らせるように設定できます。

注意

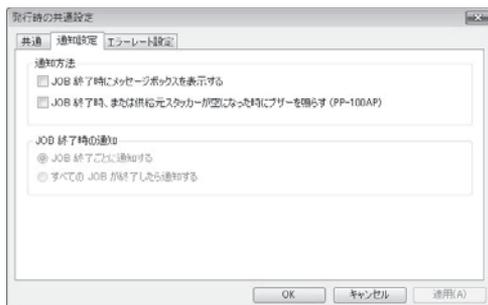
本設定は、登録されているすべての CD/DVD/BD パブリッシャー共通に設定されます。

- 1 EPSON Total Disc Setup が起動していない場合は、以下の手順で起動します。
[スタート] (Windows 7/Windows Vista は ) - [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [EPSON Total Disc Maker] - [EPSON Total Disc Setup] の順にクリックします。

- 2 [ツール] メニューの [発行時の共通設定] をクリックします。



- 3 [通知設定] タブをクリックします。
[通知設定] 画面が表示されます。



- 4 [通知方法] を選択します。

- **JOB 終了時にメッセージボックスを表示する：**
JOB の終了を、画面にメッセージ (EPSON Total Disc Monitor) を表示して知らせます。
- **JOB 終了時、または供給元スタッカが空になった時にブザーを鳴らす (PP-100AP)：**
JOB の終了、またはディスクの補充が必要なことを、本製品がブザーを鳴らして知らせます。
PP-100/PP-100N/PP-50BD/PP-50/PP-7050BD には、本機能はありません。

- 5 [JOB 終了時の通知] で、次のどちらかを選択します。

- **JOB 終了ごとに通知する：**
JOB が終了するたびに、[通知方法] で設定した方法で知らせます。
- **すべての JOB が終了したら通知する：**
複数の JOB を実行しているときに、すべての JOB が終了した時点で、[通知方法] で設定した方法で知らせます。

- 6 [OK] をクリックします。

以上で、JOB 終了の通知設定は終了です。

ソフトウェアのアンインストール

ソフトウェアが正常にインストールできなかったときは、ソフトウェアをアンインストール（削除）し、再度インストールを行ってください。

ここでは、以下のすべてのソフトウェアをアンインストールする方法を説明します。

- EPSON Total Disc Maker
- EPSON Total Disc Setup
- EPSON Total Disc Monitor
- プリンタードライバー

参考

- Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 でアンインストールする場合は、管理者のパスワードまたは確認を求められることがあります。パスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。
- Windows XP/Windows Server 2003 でアンインストールする場合は、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログオンしてください。

1 本製品の電源をオフにし、パソコンと接続している USB ケーブルを取り外します。本製品の電源をオフにする方法は、本書 23 ページ「電源のオフ」を参照してください。

2 起動しているアプリケーションをすべて終了します。

3 [コントロールパネル] を開きます。

Windows 7/Windows Vista の場合

 (スタート) - [コントロールパネル] の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2008/Windows Server 2003 の場合

[スタート] - [コントロールパネル] の順にクリックします。

4 以下の手順でアンインストールの画面を開きます。

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 の場合

[プログラムのアンインストール] をクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003 の場合

[プログラムの追加と削除] をダブルクリックします。

5 EPSON Total Disc Maker を削除します。

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 の場合

[EPSON Total Disc Maker] を選択し、[アンインストールと変更] をクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003 の場合

[EPSON Total Disc Maker] を選択し、[変更と削除] をクリックします。



参考

エラーが発生してアンインストールが行えない場合は、「Discproducer Utility & Documents Disc」をパソコンのドライブにセットし、setup.exe をダブルクリックしてアンインストールを行ってください。

6 「削除」を選択し、「次へ」をクリックします。



以降は、画面に表示されるメッセージに従って操作します。

ソフトウェアのバージョンアップ

ソフトウェアをバージョンアップすることによって、今まで起こっていたトラブルが解消されることがあります。最新のソフトウェアのご使用をお勧めします。

最新のソフトウェアは、インターネットを使用し、エプソンのホームページの「ダウンロード」からダウンロードしてください。

<http://www.epson.jp/>

ユーザズガイド(電子マニュアル)の表示

「PP-100 ユーザズガイド」(PDF) および「PP-50BD/PP-50/PP-7050BD ユーザズガイド」(PDF) では、本製品とソフトウェアの機能・操作方法、メンテナンスに関する情報、各種トラブルの解決方法などについて説明しています。

「PP-100 ユーザズガイド」および「PP-50BD/PP-50/PP-7050BD ユーザズガイド」は、「Discproducer Utility & Documents Disc」から、またはスタートメニューから表示させることができます。

参考

「ユーザズガイド for Mac」の表示方法は、本書 35 ページ「ユーザズガイド for Mac の表示方法」を参照してください。

Discproducer Utility & Documents Disc から表示させる

- 1 Windows を起動し、本製品と同梱の「Discproducer Utility & Documents Disc」をパソコンにセットします。

参考

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 で「自動再生」画面が表示されたら、[InstallNavi. EXE の実行] をクリックして操作を続行してください。

- 2 以下の画面が表示されたら、[PP-100 ユーザズガイド] または [PP-50BD/PP-50/PP-7050BD ユーザズガイド] をクリックします。



スタートメニューから表示させる

[スタート] (Windows 7/Windows Vista は ) - [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [EPSON Total Disc Maker] - [マニュアル] - [PP-100 ユーザズガイド] または [PP-50BD PP-50 PP-7050BD ユーザズガイド] の順にクリックします。

発行モードの選びかた

ディスク発行には、PP-100 では 3 つのモード（標準モード、外部排出モード、バッチ処理モード）、PP-50BD/PP-50/PP-7050BD では 2 つのモード（少量発行モードと標準モード）があります。ディスクの用途や枚数に適したモードを選択することで、効率よくディスクを発行することができます。

参考

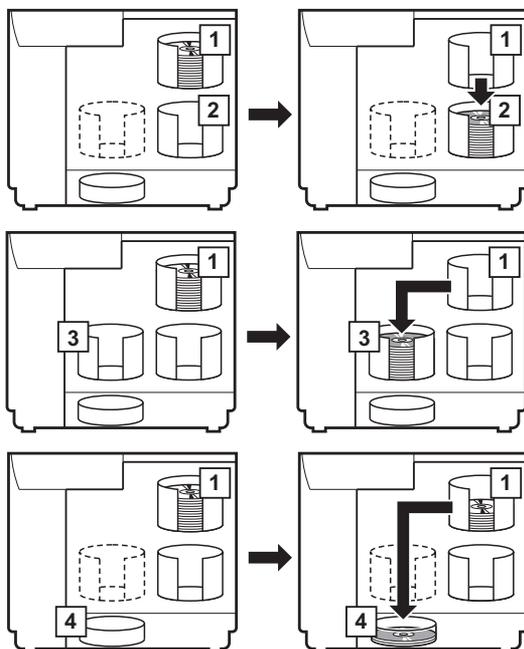
- PP-50BD/PP-7050BD には、読み込みモードもあります。読み込みモードでは、ディスクのデータ読み込みだけを行い、データの書き込みやレーベル印刷は行いません。読み込みモードについては、「PP-50BD/PP-7050BD ユーザーズガイド」を参照してください。
- PP-7050BD には、エラーレート測定モードもあります。エラーレート測定モードでは、エラーレート測定だけを行い、データの書き込みやレーベル印刷は行いません。エラーレート測定については、「PP-50BD/PP-50/PP-7050BD ユーザーズガイド」を参照してください。

PP-100

各モードでの発行手順は、「PP-100 ユーザーズガイド」を参照してください。

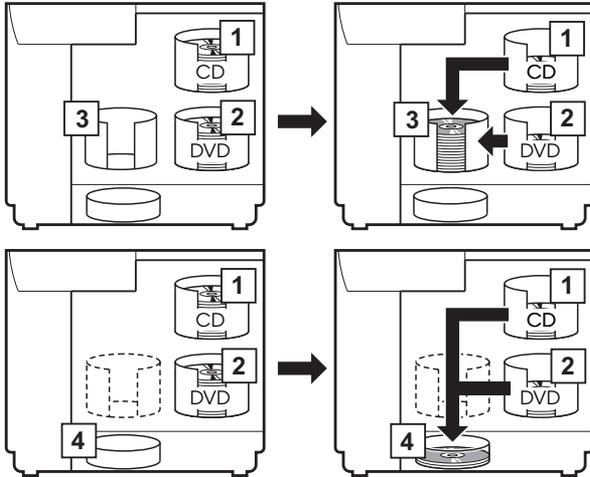
■ 50 枚までの同じディスクを一度に作成したいとき…標準モード

排出先はスタッカー 2、3 または 4 から選択できます。排出先にスタッカー 4 を選択すると、発行処理を中断せずに作成済みディスクを少しずつ取り出せます。

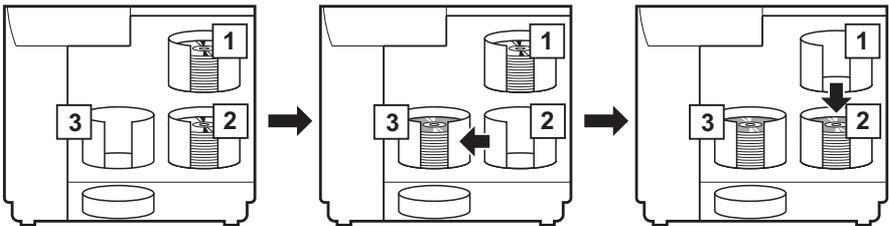


■ディスク入れ替えの手間を省いて、2種類のディスク(例えば CD と DVD)を発行したいとき…外部排出モード

排出先はスタッカー3または4から選択できます。排出先にスタッカー4を選択すると、発行処理を中断せずに作成済みディスクを少しずつ取り出せます



■できるだけ手間をかけずに大量のディスクを作成したいとき…バッチ処理モード

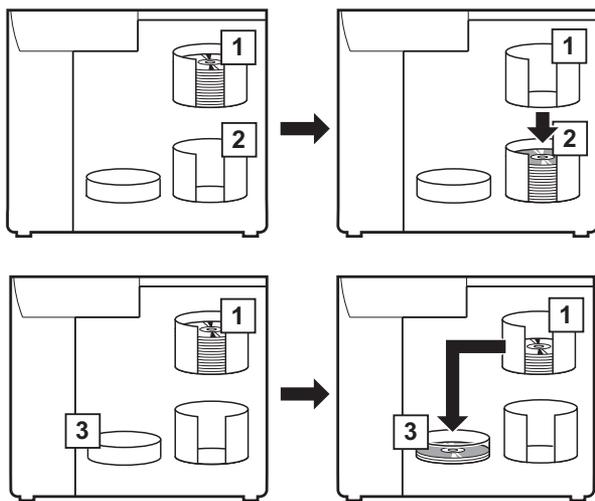


PP-50BD/PP-50/PP-7050BD

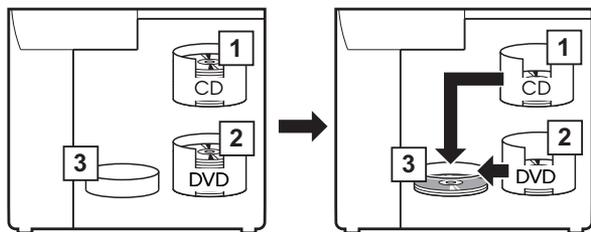
各モードでの発行手順は、「PP-50BD/PP-50/PP-7050BD ユーザーズガイド」を参照してください。

■ 50 枚までの同じディスクを一度に作成したいとき…標準モード

排出先はスタッカー 2 または 3 から選択できます。



■ ディスク入れ替えの手間を省いて、2 種類のディスク(例えば CD と DVD)を発行したいとき…少量発行モード



表記

Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional Operating System 日本語版

Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版

Microsoft® Windows® 7 Operating System 日本語版

Microsoft® Windows Server® 2003 Operating System 日本語版

Microsoft® Windows Server® 2008 Operating System 日本語版

本書では、上記の OS (オペレーティングシステム) を「Windows XP」「Windows Vista」「Windows 7」「Windows Server 2003」「Windows Server 2008」と表記しています。またこれらの総称として「Windows」を使用しています。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品 (ソフトウェアを含む) は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人 (家庭内その他これに準ずる限られた範囲内) で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制 - 注意 -

PP-100: この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。VCCI-B

PP-50BD/PP-50/PP-7050BD: この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者は適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

(社団法人 電子情報技術産業協会 (社団法人日本電子工業振興協会) のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することを固くお断りします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 運用した結果の影響については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修正・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

●エプソンのホームページ <http://www.epson.jp>

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を掲載したエプソンのホームページです。

インターネット エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。

FAQ <http://www.epson.jp/faq/>

●修理品送付・持ち込み依頼先 *一部対象機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株)	050-3155-7140
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

* 予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

* 修理については詳しくは、エプソンのホームページ <http://www.epson.jp/support/> でご確認ください。

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター:0263-86-7660 ・東京修理センター:042-584-8070

・鳥取修理センター:0857-77-2202 ・福岡修理センター:092-622-8922

●引取修理サービス(ドアtoドアサービス)に関するお問い合わせ先

*一部対象機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

引取修理サービス(ドアtoドアサービス)とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、

修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。

引取修理サービス(ドアtoドアサービス)受付電話 **050-3155-7150** 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

*平日の17:30～20:00(弊社指定休日含む)および、土日、祝日の9:00～18:00の電話受付は0263-86-9995(365日受付可)にて日通航空で代わります。

*引取修理サービス(ドアtoドアサービス)について詳しくは、エプソンのホームページ <http://www.epson.jp/support/> でご確認ください。

*年末年始(12/30～1/3)の受付は土日、祝日と同様になります。

●エプソンインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8099 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8584へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション 製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。

上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム *詳細はホームページでもご確認いただけます。 <http://www.epson.jp/showroom/>

エプソンスクエア新宿

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F

【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

●MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にビタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

<http://myepson.jp/>

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト(ホームページアドレス <http://www.epson.jp/shop/> または通話料無料0120-545-101)でお買い求めください。(2011年5月現在)

エプソン販売 株式会社

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン 株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

©2010 Seiko Epson Corporation. All rights reserved.

2012年11月発行

Printed in China



412010502